

折に触れ 四字熟語

NO. 153 『旦暮周密』 たんぼ しゅうみつ

< 意味 > 絶えず注意し続けること。朝から晩まで絶えず気をつけること。

語 釈：「旦暮」は朝から晩まで、一日中の意。「周密」は細かく抜け目がない、注意深いこと。「周」は細やか、行き届くの意。

表 現：旦暮周密に張り込みを続ける

用 例：そこで、五百は旦暮周密に其挙動を監視しなくてはならなかった。<森鷗外・渋江抽斎>

一 言：関東圏における新型コロナウイルスの感染者はなかなか私が安心できるほどには減少しません。持病持ちの私は朝から晩まで細心の注意をしながら生活しています。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」